

大使館便り

第181号 平成30年4月1日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

着任以来、多くの邦人の方々とお話させて頂いて参りました。その際、当国での生活でお困りの事についてお聞きすると、行政手続の遅滞・非効率、特に滞在許可証の発給、自動車運転免許の発給、通関（商業貨物のみならず、個人用荷物・郵便小包等）について問題点の指摘と、改善への御要望を多数頂戴いたしました。そこで去る2月、これらの諸点における改善への要望を書簡にとりまとめ、私からリベイロ外務副大臣に提出すると共に、善処の申入れをおこなったところです。

私共大使館員は、いくつかの行政手続において皆様と異なる扱いを受けておりますが、それでも私自身、着任以来5ヶ月以上となるのに未だポルトガルの運転免許証の交付を受けておらず、このようなことはこれまで途上国を含む8カ国に在勤した私も初めての経験で、正直驚いております。

邦人の方々の生活、日系企業のビジネスへの御支援は、大使館の最も重要な責務の一つです。引続き機会を尽くして改善の申入れを行って参ります。皆様方におかれても、以上の諸点に限らず、御意見、御要望等ございましたら、随時大使館にお寄せ下さい。

2. 政治・経済関係

(1) 野党・民衆党（CDS）、党大会を開催—クリスタス党首が再任

3月10～11日、社会民主党（PSD）と前連立政権（2011～15年）を形成した野党・民衆党（CDS）は、北部ラメゴ市で党大会を開き、クリスタス党首（元農業・海洋相）が党員投票で89.2%の信託を集め、再任を決めました。2期目で任期は2年です。

クリスタス党首は「未来はここにある」とのスローガンが掲げられた壇上で、19年の次期総選挙を念頭に「我々は中道右派層の第一党になりたい。CDSは左派政権に対する唯一の選択肢である」と訴えました。

(2) ポルトガル政府、東京オリンピック・パラリンピックの準備プログラムを発表

3月12日、ポルトガル政府と同国オリンピック・パラリンピックの両委員会は、2020年の東京五輪に向けた準備プログラムを正式に発表しました。本プログラムで承認された総予算は1850万ユーロ（24年開催のパリ五輪に向けた21年度分の準備予算含む）で、16年のリオ五輪より310万ユーロの増額となりました。

同日、ジャモール国立スポーツセンター（オエイラス市）で本プログラムの発表イベントが行われ、登壇したコスタ首相は、スポーツ及びオリンピック精神の柱として、社会的包摂や平等の

促進に加え、科学技術の発展が重要との見方を強調しました。本イベントには新美駐ポルトガル日本国大使も出席しました。

(3) ソウザ大統領のギリシャ訪問

3月12～14日、ソウザ大統領はギリシャを訪問しました。同大統領は、パヴロプロス・ギリシャ大統領との会談後に開いた共同記者会見で、「今後数か月で（ギリシャに対するEUの）第3次支援プログラムが終了する。これはギリシャの経済や社会の展望が開けるものであり、我々にとって大きな喜びである」などと述べました。

続けて会談したチプラス首相に対しては、「（両国関係は）大変強固で、自然かつ最良」とした上で、「ギリシャは将来の準備を進める上で重要なこの局面において、ポルトガルを頼りにすることができる」と述べました。これに対し、同首相は「現在の両国関係を続けていきたい」と答えました。

ソウザ大統領は訪問中、アテネ大学から名誉博士号を授与されたほか、国際移住機関（IOM）が管轄する同国ティーヴァ市の難民宿泊所を視察しました。

【写真上】握手するソウザ大統領とパヴロプロス・ギリシャ大統領（ポルトガル大統領府HPより転載）

【写真下】難民宿泊所で歓迎されるソウザ大統領（同）



(4) ユーロソングージェン社の最新世論調査結果

3月17日、ユーロソングージェン社の最新世論調査結果が発表されました。今回は本年2月に野党・社会民主党（PSD）党首がパソス・コエリョ前首相からリオ元ポルト市長に交替してから初めての世論調査で、同党の支持率は28.4%と、前回調査（1月）と比べて1.5ポイント上昇しました。与党・社会党（PS）の支持率も同0.2ポイント上昇し、41.5%となりました。

「理想の党首は誰か」との質問では、コスタ首相の支持率が70.9%、リオ党首が16.7%でした。また、「2019年の次期総選挙でどの党も単独過半数を取れない場合、PSとPSDの大連立を支持するか」との問いでは、有権者の見解はほぼ半数に分かれる結果となりました。

(5) ポルトガル国立統計院（INE）、2017年の対GDP比財政赤字を発表

3月26日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2017年の対GDP比財政赤字を2.96%と発表しました。INEによると、このうち2.04%は、国内最大手の国営ポルトガル貯蓄銀行（CGD）の自己資本増強計画の一環で、ポルトガル政府が同年に公的負担した39.4億ユーロを反映しており、この負担を除いた実質分は0.92%になります。

同日、センターノ財務大臣は記者会見で、0.92%の数字を念頭に「過去数十年間で最高の経済的・財政的パフォーマンスだった」と述べました。CGDへの公的負担については「同行の将来に対する投資であり、リターンを得られるものである。ポルトガル人の貯蓄と金融システムの安定化において重要な投資であった」と説明しました。

(6) ポルトガル中央銀行、マクロ経済指標の見通しを発表

3月28日、ポルトガル中央銀行は2018～20年のマクロ経済指標の見通しを発表しました。概要は以下の通りです（2017年は実績値）。

(%)	2017年	2018年	2019年	2020年
経済成長率	2.7	2.3	1.9	1.7
輸出	7.9	7.2	4.8	4.2
輸入	7.9	7.7	5.4	5.0
失業率	8.9	7.3	6.3	5.6
インフレ率	1.6	1.2	1.4	1.5

4. 広報・文化関係

(イベント)

・オリエン特財団創立30周年及びオリエン特博物館10周年記念行事における日本文化関連イベント

オリエン特財団30周年及びオリエン特博物館10周年を記念し、下記の通り各種日本文化関連イベントが開催されます。詳細は、下記URLをご参照下さい。

a) 尺八初級レッスン

- ・日時：4月16日（月）～20日（金） 17:00～20:00
- ・会場・住所：オリエン特博物館 Avenida Brasília, Doca de Alcântara (Norte) 1350-352 Lisboa (以下のイベントについても同)
- ・講師：César Viana
- ・受講費：70ユーロ（+尺八代35ユーロ）
- ・お問い合わせ：info@foriente.pt, 213 585 200 (以下同)
- ・URL：<http://www.museudoorientep.pt/3208/japao.htm#.WrTkgJciG2N> (以下同)

b) 絞り藍染めワークショップ

- ・日時：4月22日（日） 10:00～17:00
- ・講師：Ana Quaresma
- ・受講費：60ユーロ

c) “桃太郎”読み聞かせ（「世界本の日」記念）

- ・日時：4月22日（日） 10:30～11:30
- ・入場無料（3～5才の子供連れ家族向け）

d) 書道ワークショップ

- ・日時：4月22日（日） 10:30～
- ・講師：小杉卓

- ・ 入場無料（15歳以上）

e) 工芸品「起き上がりこぼし」ワークショップ

- ・ 日時：4月22日（日） 11:45～、14:00～（2セッション）
- ・ 講師：樋口真美
- ・ 入場無料（6才の子供連れ家族向け）

f) 日本語ワークショップ

- ・ 日時：4月22日（日） 11:45～、14:00～（2セッション）
- ・ 講師：伊丹弘子
- ・ 入場無料（15歳以上）

g) 書家・小杉卓氏講演会

日本マイクロソフト社勤務を経て独立した若手書家・小杉卓氏が世界各地でのパフォーマンスやオーケストラとの共演、大学での活動等、「書」を軸としてどのような活動を展開してきているかについて講演します。

- ・ 日時：4月22日（日） 15:15～
- ・ 講演者：小杉卓
- ・ 入場無料

h) 学芸員によるギャラリー・ツアー「日出づる国」

- ・ 日時：4月22日（日） 15:30～16:30
- ・ 参加無料

i) オリエント博物館オリエンテーリング — “戦士のための花？”

- ・ 日時：4月22日（日） 15:30～17:00
- ・ 入場無料（7～12才の子供向け）

j) 書家・小杉卓氏による書道デモンストレーション

- ・ 日時：4月22日（日） 16:30～
- ・ 入場無料

k) 尺八・ピアノコンサート

「さくらさくら」、「赤とんぼ」等馴染みの童謡から武満徹のピアノ曲まで多彩な楽曲を揃えたコンサートです。書家・小杉卓氏のパフォーマンスも実施されます。

- ・ 日時：4月22日（日） 18:30～
- ・ 尺八：César Viana
- ・ ピアノ：Hortensia Hierro

- ・ 入場無料

- ・ 展示「De Portugal para Kyushu」(ポルトガルから九州へ)

Vila Franca de Xira 市において、「Associação Rotas da Lusofonia」(ポルトガル語圏ルート協会；ポルトガル語の普及・理解促進を目的とする NPO) の主催による日本・ポルトガル交流の諸相を描いたオリジナル屏風の展示が以下の通り開催されます。「種子島とポルトガル人の到着」、「宣教師と商人」、「日本の遣欧使節」他をテーマとして制作された作品です。

- ・ 日時：4月6日(金)～29日(日)
- ・ 会場：Fábrica das Palavras - Biblioteca Municipal de Vila Franca de Xira
- ・ 住所：Largo Mário Magalhães Infante, nº 14 - 2600-187 Vila Franca de Xira
- ・ お問い合わせ：geral@rotasdalusofonia.pt/
- ・ URL：<http://rotasdalusofonia.pt/>
- ・ 入場無料



(報告)

- ・ 全日本剣道連盟からポルトガル剣道協会への剣道具贈呈式

3月17日、リスボン市パトリシオ・プラゼーレス高校講堂において、全日本剣道連盟からポルトガル剣道協会への剣道具贈呈式が行なわれました。贈呈式では、子供達及び成年による剣道並びに居合いのデモンストレーションが行われ、引き続き在ポルトガル日本国大使館の新美潤大使よりポルトガル剣道協会の Nuno Serrano 会長に寄贈剣道具の目録が手渡されました。

今般、剣道具を寄贈いただいた全日本剣道連盟に感謝いたしますとともに、今後当国における着実な剣道の広まりが期待されます。



(お知らせ)

・広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

5. 領事関係

(1) 2018(平成30)年度の手数料

1. 旅券関係

10年有効旅券の発給	129.00ユーロ
5年有効旅券の発給	89.00ユーロ
同(12歳未満)	48.00ユーロ
記載事項変更旅券の発給	48.00ユーロ
旅券の査証欄の増補	20.00ユーロ
帰国のための渡航書の発給	20.00ユーロ

2. 各種証明関係

在留証明	10.00ユーロ
出生, 婚姻, 戸籍関係証明	10.00ユーロ
翻訳証明	35.00ユーロ
署名証明	14.00ユーロ
在留届出済証明	17.00ユーロ

(2) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、**ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等**、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(3) 在外選挙人名簿登録

外国に在住する日本人が衆議院議員選挙、参議院議員選挙をするためには、在外選挙人登録が必要です。18歳以上で日本国籍を持っていること、ポルトガルに3か月以上住んでいること、日本で転出届を市町村役場に提出済であることが必要です。なお、3か月未満のポルトガル在住でも申請できますが、居住期間の3か月经過時に改めて所在を確認した上で登録申請先の国内選挙管理委員会に送付することとなりますのでご注意ください。登録申請のためには旅券を持参ください。

(4) 「たびレジ」登録

在留邦人の皆様が、ポルトガル以外に旅行される場合には「たびレジ」の登録をお願いします。「たびレジ」に登録しますと、現地の大使館からの安全情報をスマートフォン等で受信することが出来ます。登録はこちら。<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

(5) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975

E-mail：consular@lb.mofa.go.jp

(了)